平成 28 年 8 月 4 日

各　位

会　　社　　名　日特エンジニアリング株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　　近藤 進茂
（コード番号　　６１４５）
問い合わせ先
役職・氏名　執行役員　管理本部長　磯　田　　博
電　　話　０４８－８３７－２０１１

新製品の販売開始に関するお知らせ

当社は、株式会社Trigence Semiconductor（本社：東京、社長：岡村 淳一、以下「Trigence社」という）が特許を持つデジタル信号処理技術「Dnote®」を用いた半導体搭載、フルデジタルの「スマートスピーカー」の小型化を可能にするマルチコイルの生産設備の開発をTrigence社とのオープンイノベーションにより成功し、受注活動をスタートいたします。

※ 経緯等は2014年7月25日開示「株式会社Trigence Semiconductorの株式取得及び業務提携に関するお知らせ」をご参照ください。

Trigence社が独自に開発した「Dnote®」は、マルチコイル・スピーカーをデジタル信号で直接駆動することで、駆動電圧や消費電力の削減と音質の向上を実現するものです。同社の技術は、国内外の複数のオーディオメーカー等にLSI製品及びライセンス供与され好評を博しております。

また、Trigence社は、インテル社、株式会社産業革新機構、TDK株式会社、当社等からの出資や技術支援を受け、フルデジタルスピーカーの小型モジュール（以下「DSM」）化による、PCやモバイル機器の省電力化や高音質・高機能化を目指しDSMの開発を進めています。

今回、当社がDSMの小形化を可能にする生産設備の開発にTrigence社とのオープンイノベーションで成功したことで、世界規模での展開が志向されているスマート社会の実現に必須となる、音声によるマンマシン・インターフェースとしてのDSMの実用化の促進が期待されます。また、小形スピーカコイル生産設備のリーディングサプライヤーである当社が本生産設備を販売することで、DSMがモバイル機器やIoT製品でのデファクト音声モジュールとして、グローバルに普及される為の設備面での基盤が確保できたものと確信しております。

本件開示が、業績予想に影響を与える影響については精査中であり、開示が必要と判断した場合には、速やかにその手続きを行います。

【Trigence 社の会社概要】

社　　名	：株式会社 Trigence Semiconductor（トライジェンス　セミコンダクター）
所在地	：東京都千代田区外神田 2-5-15、米国/サンフランシスコ、香港/銅鑼湾、台湾/台北
代表取締役	：安田　彰（会長），岡村　淳一（社長）
主な事業の内容	：デジタルスピーカー向けデジタル信号処理技術（Dnote：ディーノート）の開発・販売
創　　業	：2006 年 2 月 6 日

＊Dnote®は、日本、米国及びその他の国における株式会社 Trigence Semiconductor の商標または登録商標です。

以　上